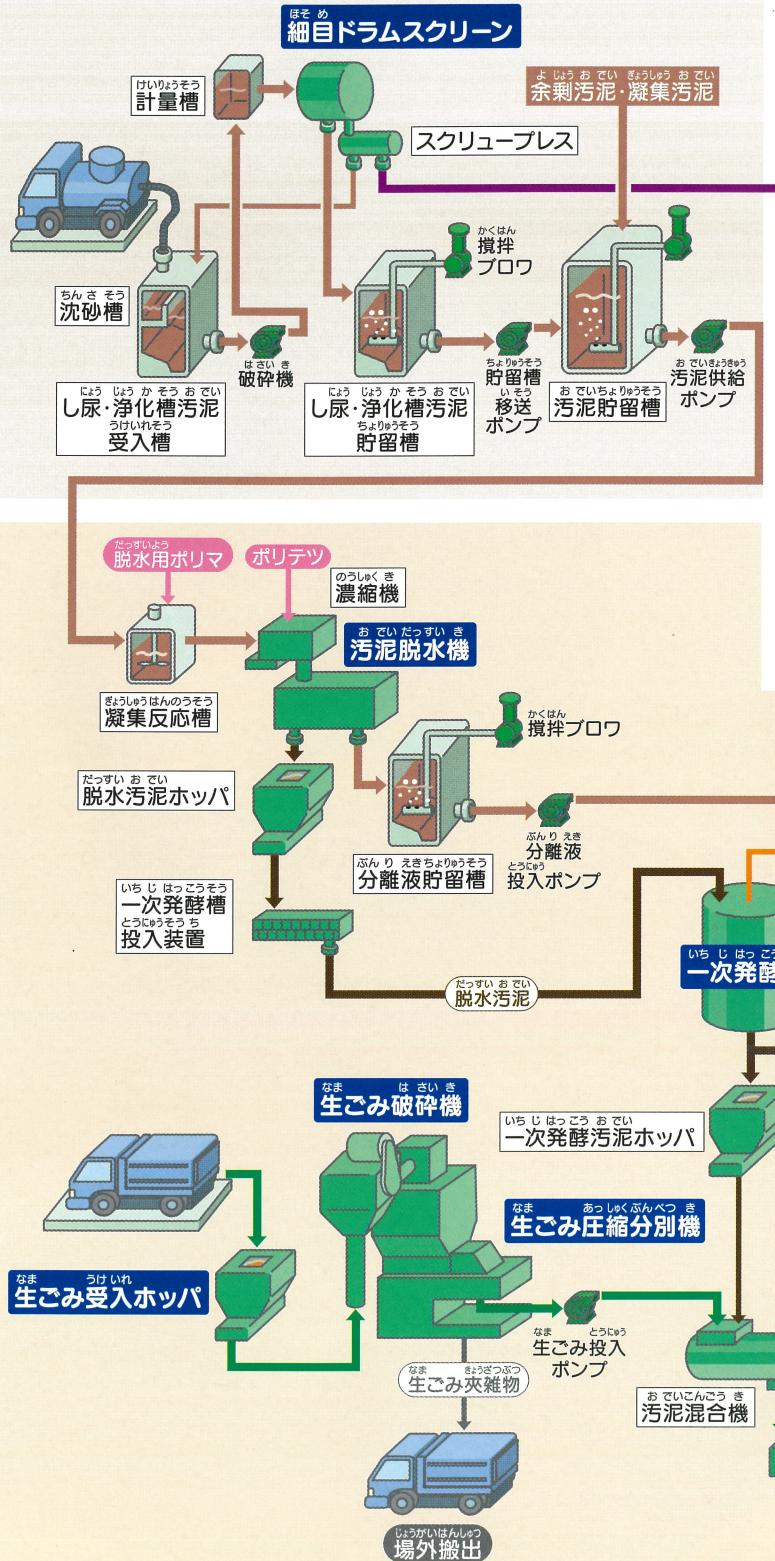




しょりなが 処理の流れ

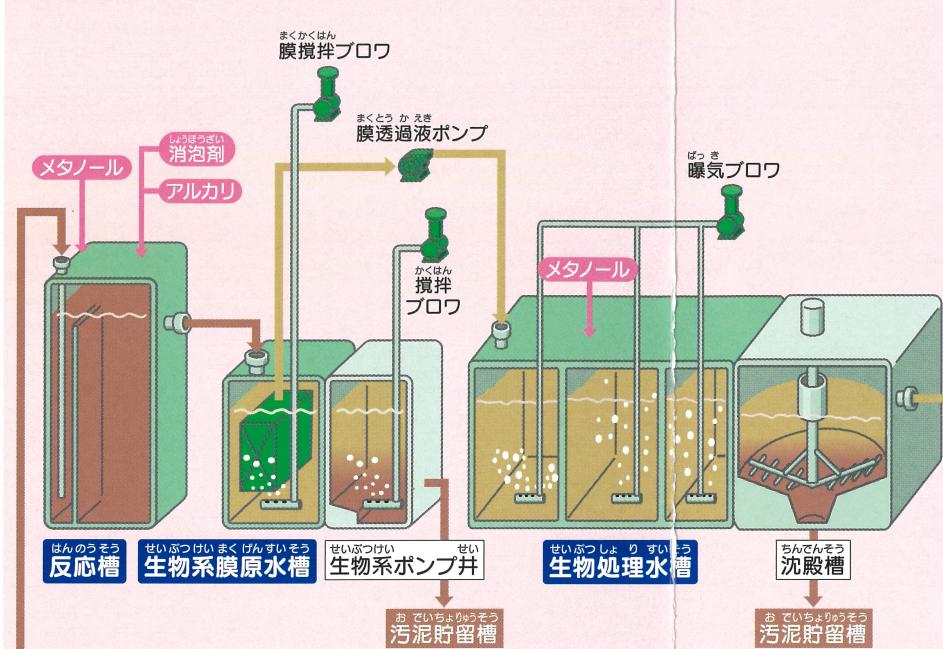
受け入れ貯留設備

搬入専用車両にて運ばれたし尿や浄化槽汚泥はトラックスケールで計量し、脱水機で安定的に処理するために紙やビニール類を除去して貯留します。



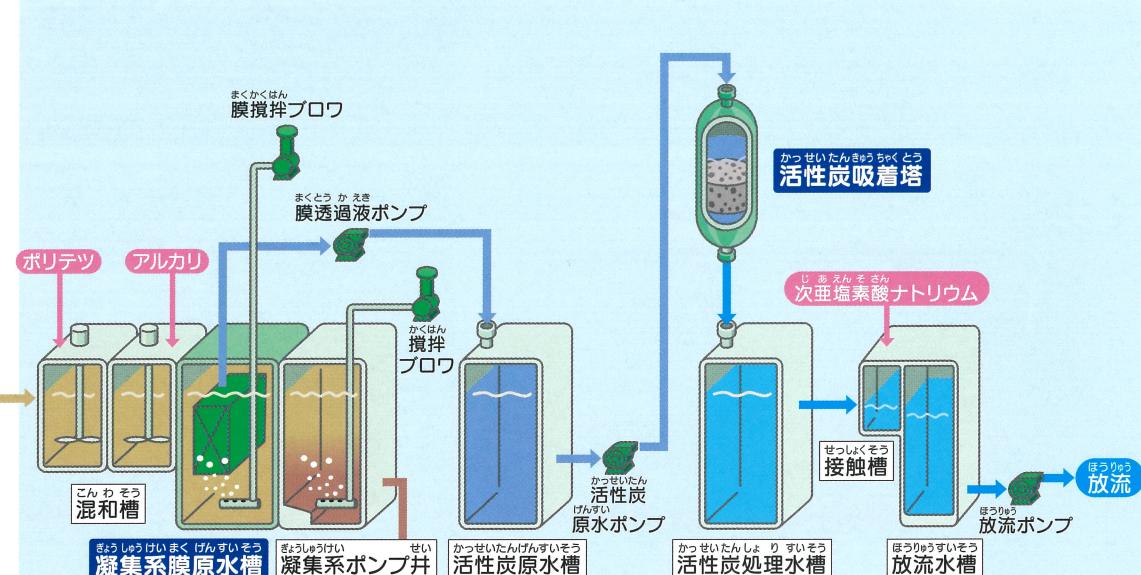
主処理設備

し尿や浄化槽汚泥中に含まれている窒素を微生物の力を利用して除去します。窒素を取り終えた汚水は、膜分離装置により透明な処理水にします。



高度処理・放流設備

処理水をさらに浄化するためにCODや色度などの細かい汚れを除去します。高度処理水は接触槽で滅菌後、放流します。



資源化設備

受入したし尿・浄化槽汚泥は余剰汚泥と一緒に脱水し、生ごみと一緒に発酵槽に投入します。約1カ月後にコンポスト堆肥となり、農地還元されます。

各処理工程から発生する臭気は、臭いの強さ別に高、中、低と分類し、それぞれ適正な脱臭処理を行い、臭いのない空気にして屋外へ排出します。

脱臭設備